

学校の様子(1/23～1/27)

1/23(月)朝会「あいさつの大切さ」

本日、朝会で「あいさつの大切さ」について話をしました。話した内容は下のとおりです。子どもたちが、あいさつをすることで得られる5つの効果を実感し、幸せになってほしいと思います。

みなさんに質問です。「『あいさつ』は人生を変えてしまう力がある？」これは本当です。コメディアンのスーパースター、萩本欽一さんが修業していたとき、「芸人としての才能がないから辞めさせよう」と、演出家が劇場から追い出そうとしました。そのとき、「彼のあいさつは快い。辞めさせないで！」と守る声上がり、萩本さんはやめなくてよくなりました。

次に、「あいさつはできないと損をする？」これも本当です。日本全国共通で、子どもから大人まですべてです。これから、大人になればなるほど、その傾向は強くなります。例えば、6年生は中学校に行くと、部活動で「あいさつできない」という理由で、先輩に信用されないことがあります。また、大人では、「あいさつができない人は採用しない」という会社もあります。

みなさんのあいさつはどうでしょうか？今のままで、あいさつができなくて、損をする人生になってしまうのではないのでしょうか？みなさんはそれでいいですか？今日は、あいさつすることがなぜ大事なのか、そして、あいさつをすることで得られる5つの効果について紹介します。

1つめが、「大きな声であいさつをすると気持ちがいい」です。「さっき『おはようございます！』とあいさつして、嫌な気持ちになった人？」そんなことは滅多にありません。また、「あいさつされて嫌な気分になった」なんてこともありません。あいさつは、するのもしられるのも気持ちがいいものです。あいさつをするだけで、気持ちのいい一日を始めることができます。一日の中で「気持ちいい！」と感じられることって、そう多くはありません。実は、あいさつは、その少ないチャンスの一つなのです。あいさつをしないということは、朝から「気持ちいい！」と感じるチャンスを自ら逃しています。

2つめが、「笑顔になるときが増える」です。あいさつをするとき、人は無意識のうちに笑顔を作ります。あいさつをすると自然と笑顔が増える、これも大きなメリットです。あいさつをきっかけにして笑顔が増えれば、気持ちもそれにつられて上向いてくるのです。あいさつは、自然に笑顔になる機会をくれて気持ちも上向きにしてくれる、ありがたい言葉なのです。

3つめが、「相手からよく見られ、人間関係もよくなる」です。あいさつをしてもらえなかったり、あいさつをしたのに返事をくれなかったりしたとき、ムッとしたことはありませんか？このように、あいさつをしないというのは、相手を認めていない、ばかにしているという見方をされます。さっきの中学校の部活動の例は、これにあたります。反対に考えれば、誰かにあいさつをするということは、その相手を認めているということになります。認められていると感じれば人は喜び、認めてくれた人に対して、好きという気持ちをもって接するようになります。あいさつをするだけで、このように人間関係は良くなっていきます。

4つめが、「常識のある人に見られる」です。あいさつというのは礼儀の基本であり、「常識がある人がどうか」を判断する一つの材料です。あいさつに技術はいりません。大きな声で笑顔で「おはようございます！」と言うだけです。これだけで、あなたは「あの人はしっかりあいさつしてくれて、とても常識のある人」と周りから信頼されます。

5つめは、「思い立ったら今すぐに始められる」です。あいさつのすごいところは、効果が大きいわりに、簡単に始められます。「おはようございます」「こんにちは」「こんばんは」「さようなら」など、1日のうち、あいさつをする機会は何回もあります。今すぐ始めることができます。必要なものも何もありません。

そう考えると、「あいさつ」ってすごくないですか？「気持ちいい！と感じられて」「自然と笑顔を増やしてくれて」「人間関係を改善してくれて」「『常識がある人』という評価をもらえて」「すぐに始められて」といいことばかりです。あいさつができないとモットいないと思います。みなさんもあいさつで幸せになってください！

1 / 24 (火) こころのポスト

本校では、子どもが相談したいことをいつでも受け付けられるように、保健室近くにこころのポストを設置しました。子どもたちが、心のつぶやきを手紙に書き、読んでほしい教職員の名前を書いて投函します。「悩んでいるけれど、相談しにくい」と思っている子どもの心が軽くなったり、悩みを解決したりするためのきっかけになればと考えています。



1 / 25 (水) 戦争体験を聞く会 (6年)

本日、6年生が「戦争体験を聞く会」を行いました。元県教育長の安井俊夫氏を講師に招き、6年生を対象に太平洋戦争のを中心にお話をいただきました。戦争の怖さ、悲惨さ、今の生活がどれほど幸せなものかを、改めて感じていました。



1 / 26 (木) 命の授業 (2年)

今日、2年生が「ぼくわたしのたんじょう」の授業をしました。講師として助産師を招いて、自分におへそがある理由やお腹の中での赤ちゃんの成長の様子を知ったり、賛同体験や赤ちゃん人形だっこ体験をしたりしました。この授業を通して、命の神秘性や大切さを理解し、自分の命を大切にしようとする気持ちをもつことができたのではないかと思います。



1 / 27 (金) 本の読み聞かせ (1~3年)

図書ボランティアによる本の読み聞かせが、朝の読書タイムに行われました。子どもたちは、図書ボランティアさんの読み聞かせを真剣に聞いていました。

